

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		紙ヒコーキ				公表日 2025年3月25日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		基準人以外に+1～3名を配置している。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		バリアフリー化している。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日、清掃を徹底している。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		クールダウン時や宿題時に、個室を提供している。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		朝礼時に、昨日の振り返りを行っている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		アンケートの内容を基に、より良い支援に繋がれるよう話し合いを実施している。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		話しやすい環境を心がけている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		今後、検討する。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		研修を実施している。		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		公表している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		実施している。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		児発管を中心に、モニタリングを行ったり、保護者様にアセスメントシート等で要望を確認し、実施している。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		情報共有を実施している。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・アセスメントシート等、いつでも閲覧できるようにしている。 ・朝礼や業務終了時に情報・意見交換を実施している。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		個別支援計画書に明記している。	個別支援計画書に明記はしているが、現実的に、「地域支援・地域連携」が機能していない為、今後、検討をしていく。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		情報共有を実施している。		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		固定化しないように、提案を行っている。	現状は、ブームがあり、お子様たちの自主性を損なわないように注意していく。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		こどもの課題をスタッフで共有しながら、支援を実施している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		朝礼時に、実施している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		終了後にできない場合は、翌日の朝礼時に実施している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		支援経過をシステムに入力している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		半年に1回以上実施している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	○			地域交流については、助言を頂きながら実現をしていきたい。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		ほぼ実施できている。	弊所は、強制的な活動は基本的にさせていない。但し、避難訓練や外出時参加して頂いている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		参加している。参加前には、事前に他スタッフに情報を収集している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		体制は整えている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		・大きな問題が発生した場合は、関係者会議や電話での対応を実施している。 ・送迎時間の遅れ（渋滞・先に迎えに行った学校でのトラブルでの遅延等）が発生した場合は、事前に連絡を入れている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		極力、情報収集を実施しようとしている。	保育園等での情報収集は課題があり、今後、検討をしていく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		過去、1人卒業生がいた時に、事業所・学校・相談支援員と引継ぎ会議を実施。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			過去、一度もなく、今後、検討していきたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○		今後、検討する。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		奈良市障がい児支援連絡協議会に定期的に参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎時に会話をしているが、時間が足りない場合は、電話や面談を行っている。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		今後、検討する。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に説明をしている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		アセスメントシート等のご記入・相談支援員との連携を実施しており、個別支援計画書の内容を説明している。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		内容を説明し、同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		相談があれば、面談を実施したり電話での対応をしている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	保護者会については、実施したことがない。	保護者会については、保護者間でも賛否両論があり、関係機関等相談をしながら、検討をしていく。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情相談窓口を設置している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		不定期ではあるが、ブログ等の発信は行っている。	定期的に発信できるように、検討していきたい。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報については、十分配慮している。ブログの写真についても、必ず、特定できないように顔隠しを実施している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		子どもの特性により、絵カードや指差し等で意思疎通を図っている、保護者様に対しては、送迎時やモニタリング時に会話をしている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		個人情報を意識しながら、検討をしていく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			防犯マニュアルは、策定中である。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPは策定し、避難訓練は実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		てんかんの症状については、契約時に確認をしている。	予防接種については、書面で確認できていない。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		医師の指示書は頂いていないが、食物アレルギーのお持ちの方については、おやつ置き場に提示している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			安全計画は策定しているが、訓練等は実施できていないので、検討・実施する。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		○		安全計画は策定しているが、ご家族様への周知ができておらず、次年度以降に周知していく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		事業所内で共有している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止委員会開催時（年に1回）に、研修を実施している。非常勤スタッフについては、個別に研修を実施している。	身体的虐待については、徹底できているが、心理的虐待については、注意する時の声掛けがスタッフ間で温度差がどうしても出てしまうのが課題である。今後も、スタッフ間で話し合う事に留意する。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		見学・体験時に簡単に説明を行っています。	今後、身体拘束の必要性がある場合は、保護者様に説明し、計画書に記載するようにする。もし、した場合は記録を残し、都度、報告をするように留意する。	